



伊丹

丹→豊岡の日本エアコムセンターを利用しました。JRが満席だったので予約センターにTELしてたら、但馬四季彩割引があるということでとても安くご利用されました。伊丹を飛んで、仁川の競馬場や東条湖上空を通過、円山川を右手に見ながら、但馬海岸へ出て旋回、35分で但馬空港へ着地しました。サーブという飛行機で高度3000メートル、時速400キロの空の旅はJRよりも快適。飛行機と接続して全但バスが城崎まで送ってくれます。T2を読んでいる人、一度機会があれば日本エアコムセンターを利用されることをおすすめします。

主人も私も和田山町・朝来町出身です。月一回ぐらい但馬に戻っています。仕事の都合で大阪にいますが、但馬は自然に恵まれていて大好きです。最近では、播但有料道路の延長工事も進んで帰るたびに様子がかわっていくので驚いています。便利なアクスアオイが近畿では出石町だけ確認されているとは全く知りませんでした。そもそも出石中学校横の谷山川の変化 자체に「え?いつの間にこんなきれいになつたん?」と驚いたくらいですから、ミズアオイという名すら初めてT2で知ったのです。そうか、そつだつたんですね。あのちょっと変わった造りは水生植物の為の湿地ゾーンだったのですね。河川の改修工事

出石町は私のふるさとでもあります、貴重な水生植物「ミズアオイ」が近畿では出石町だけ確認されているとは全く知りませんでした。そもそも出石中学校横の谷山川の変化 자체に「え?いつの間にこんなきれいになつたん?」と驚いたくらいですから、ミズアオイという名すら初めてT2で知ったのです。そうか、そつだつた

等によって滅ぼざるを得なかつたミズアオイが、その河川工事で設けられた人工地で、また新たに甦ることは何とも皮肉な話です。万葉の昔から咲き続けてきたミズアオイも、今年の9月頃には多くの人々の前でその紫色の花を誇らしげに開かせるのでしょうか。晩夏にまたひとつ心踊る楽しみができるました。

豊岡市 嶋田愛弓さん

T2のおかげで少し分一市十八町をかけ巡りました。灯台も暗しとはこのことで、すぐ近くにいっぱい、見どころ、食べどころ、人情ありと発見。遠くに行くことが旅だとばかり思っていた勘違い。まだまだこれからT2に大きな期待をして、ここ但馬巡りを行います。宇野千代さんの小説紹介にも感激。あーあ、いつとどものいいから、そんな自由奔放な女に変身したい! (これないよ)

吹田市 谷川有紀さん

但馬方面へ行ってみたいと思いつつ数えるほどしか行ったことがありません。何回もたぶん情報誌で取り上げられたと思いますが、但馬の見どころ(大きなスベリ台の公園とか家族がいって楽しむ施設、観光場所等)をもう一度紹介してもうまませんか。どこに行けば何があるかわかりません。また、近郊の地図があれば最高です。

豊岡市 大島世志子さん



TAJIMA Communication

なぜ?なぜ? 不思議クイズ

問題: 生野町の町並みをよく見ると家の土台や井戸、石段などに使われている黒い石が目に付きます。さて、生野町独特のこの石を何と言おうでしょうか?

(ヒント: 10~11ページをよく読む)

但馬の特産品が当たるクイズです。今回は豊岡市、城崎町、竹野町の特産品から欲しいものをひとつだけ選んでご応募ください。

- ①せんべい 試合せ (豊岡市) 3名様
②但馬焼 一輪挿し (城崎町) 3名様
③ポン酢と醤油の詰合せ (竹野町) 3名様

■場所/鳥取県境港市竹内団地
「環日本海交流村」「産業未来館」
開催期間/平成9年7月12日(土)
~9月28日(日)

◆締切/平成9年9月30日(火)
(当日消印有効)
(問) 日高町商工観光課
☎ 0796(42)1111

表紙からの伝言

今回の表紙は香住町岡見公園に咲く、ユツスゲの花です。漁火が輝き出す夕暮れに咲く花で、7月下旬~8月上旬が見ごろ。切り立った崖に黄色の花が揺れ、とても可憐。隠れたデータスポットです。

- 第一回大石りくエッセー賞
テーマ、「らく女へのメッセージ」
(題は自由)
表現形式は自由
応募規定/おおむね50字以上
600字未満

但馬の情報誌「ティーツー」が新しくなりました。表紙もコーナーも新鮮な気分でお届けします。また、発行日が変わりました。
発行日/3月1日
/7月1日
/11月1日
年3回となります。

発行日/3月1日

/7月1日

/11月1日

年3回となります。

- 第二回日高の自然 俳句・短歌祭
●テーマ/神鍋高原、阿瀬渓谷など日高の自然をはじめ、そこに暮らす人々の生活、人情、文化、さらにふれあいなどを詠んだ俳句及び短歌とし、季節は問いません。

●応募方法/官製ハガキに作品と住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。俳句、短歌の両方に応募できますが、別々のはがきで応募してください。

☎ 0796(23)1111

●テマード/神鍋高原、阿瀬渓谷など日高の自然をはじめ、そこに暮らす人々の生活、人情、文化、さらにふれあいなどを詠んだ俳句及び短歌とし、季節は問いません。

☎ 0796(23)1111

●応募方法/官製ハガキに作品と住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。俳句、短歌の両方に応募できますが、別々のはがきで応募してください。

☎ 0796(23)1111

●テマード/神鍋高原、阿瀬渓谷など日高の自然をはじめ、そこに暮らす人々の生活、人情、文化、さらにふれあいなどを詠んだ俳句及び短歌とし、季節は問いません。

☎ 0796(23)1111

豊岡市 岩原典夫さん

豊岡市 岩原典夫さん



豊岡市 岩原典夫さん

1997年7月1日発行
発行:財団法人 但馬ふるさとづくり協会
〒668 兵庫県豊岡市山王町11番28号
TEL.0796-24-2247
FAX.0796-24-1613
企画編集:株式会社CAMEL
印刷:岩見印刷株式会社
●本紙の発行にご協力いただいた各市町ほか関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。
●本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断転載を禁じます。

T2編集部の電話番号

TEL.0796(24)6373 FAX.0796(24)6378

6 6 8
兵庫県豊岡市
桜町10-11
T2編集部宛

■おたより、クイズの答えなど、上記までどしどしお寄せください。

CREATION

クマダの創造力

人、自然、文化が織りなす
豊かな生活ステージを目指して



今、時代が、私たちアーキテクトに求めているテーマは共生です。豊かな自然を生かし、次世代に美しい環境を残すことが私たちの使命です。



かつて人類は、大いなる自然に抱かれ、風や光や水をいつも身边に感じながら生活をしていました。そこでは、人間も自然の一部であり、地球上の様々な命と共に存しながら生きてきたのです。

しかし、20世紀に入り、大きな技術革新の波が地球全体を襲い、急速に自然が破壊されてしまいました。それは同時に私たちの生活環境を損なうことでもありました。本当の豊かさとは何か…、クマダは、自然復興をベースにした環境づくりにいちばんやく着手してまいりました。

大規模なプロジェクトから個人住宅の建築にいたるまで、常にエコロジーをテーマに事業を展開してきたのです。当社が2×4のバイオニアとして評価されるのも、このような企業理念の実践に基づきます。また省エネ等への取り組みを積極的に行い、技術とノウハウを蓄積してまいりました。

自然の営みを理解し、美しい景観と解け合いながら、豊かな暮らしと文化が花ひらく。私たちクマダの夢は、大いなる自然と対話しながら、人と自然が豊かなハーモニーを奏でるエコロジカルな社会環境を創造することにあります。



株式会社 クマダ

本店／兵庫県城崎郡日高町土居80-2 TEL.0796(42)1085 FAX.0796(42)4504
神戸本社／神戸市中央区二宮町1丁目9-11 P&Bビル TEL.078(241)8888
東京支店・大阪支店・豊岡営業所・丹後営業所・丹波営業所



カンナベブルーリッジホテル